



7

A

貴族社会の発展①

氏
名

組

番

得

点

50

1 〈木簡と計帳は語る〉 次の文中の□□□□にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 710年、律令国家の新たな都として、現在の奈良に□□□□がつくられた。
- (2) □□□□などの貨幣が(1)の東西に置かれた市で使われた。
- (3) 班田収授の法により、戸籍に基づいて6歳以上の男女にあたえられた土地を□□□□という。
- (4) 律令制下で農民が負担した税のうち、収穫した稲の約3%を納めた税を□□□□という。
- (5) 743年、新たに開墾した土地を永久に所有することを認めた□□□□が制定された。

1 (各4点×5)

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	

2 〈シルクロードにつながる道〉 次の問いに答えなさい。

- (1) 聖武天皇は仏教の力によって国を守ろうとして、都に大仏をまつるために建てた寺院を何というか。
- (2) 天平文化について、神話や国の成り立ちなどを記した歴史書は、『古事記』のほかに何があるか。
- (3) 地方の国ごとにまとめられた、地理や伝承などを記したものを何というか。

2 (各3点×3)

(1)	
(2)	
(3)	

3 〈望月の欠けたこともなしと思えば〉 次の文中の□□□□にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 794年、桓武天皇は律令政治を立て直すため、京都の□□□□に都を移した。
- (2) 東北地方の蝦夷を従えるため、朝廷は□□□□を征夷大將軍に任じて大軍を派遣した。
- (3) 藤原氏による摂関政治は、11世紀前半の□□□□と藤原頼通の時代に最も栄えた。

3 (各3点×3)

(1)	
(2)	
(3)	

4 〈「以呂波」から「いろは」へ〉 次の問いに答えなさい。

- (1) 唐から帰国し比叡山に延暦寺を建て、天台宗を開いた人物はだれか。
- (2) 10世紀初めに唐が減び、やがて中国を統一した王朝はどこか。
- (3) 漢字からつくられ、日本語を音声どおりに書き表すことができるようになった文字を何というか。
- (4) 紫式部が(2)を用いて書いた小説を何というか。

4 (各3点×4)

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	



7

B

貴族社会の発展①

氏
名

組 番 得 点

50

1 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

710年、奈良に平城京^{へいじょうきやう}がつくられた。平城京は④広い道路によって^{ごばん}碁盤の目のように区切られ、東西に置かれた市では和同開珎^{わどうかいじん}などの貨幣^{かへい}が使われた。一方、地方と都を結ぶ道路が整備され、駅^{かいほう}がつくられた。地方支配の拠点として、東北地方に①、九州に②が置かれた。また、唐^{てう}の制度や文化を学ぶために、遣唐使^{けんとうし}が派遣された。このころ栄えた、大陸の影響を強く受けた国際色豊かな文化を⑥天平文化^{てんぴやう}という。

律令制のもとで、人々は⑤戸籍^{こけい}に登録され、6歳以上の男女には口分田^{くふんでん}があたえられ、死亡したときには国に返させた。

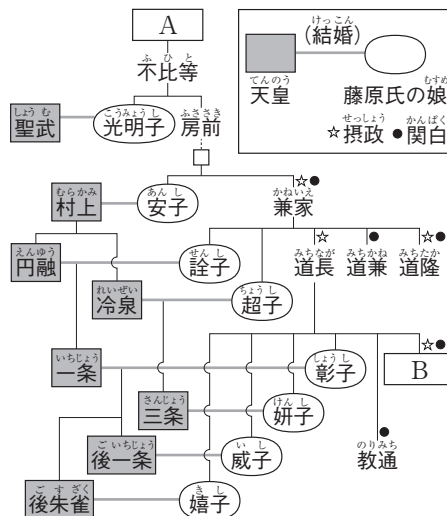
- 下線部④は唐の都にならったものである。モデルとなった唐の都の名前を答えなさい。
- 文中の①・②にあてはまる語句を次から選び、それぞれ記号で答えなさい。
ア 水城^{みづき} イ 多賀城^{たがじやう} ウ 大宰府^{だざいふ} エ 国司^{こくし}
- 下線部⑥は、どの天皇のころに栄えたか。次から選び、記号で答えなさい。
ア 聖武天皇^{しやうむ} イ 天武天皇^{てんむ} ウ 推古天皇^{すいこ} エ 天智天皇^{てんじ}
- (3)の天皇が仏教の力で国を守ろうと考え、地方の国ごとに建てた寺院の名前を2つ答えなさい。
- 下線部⑤の制度の名前を答えなさい。

1 ((4)5点, 他各4点×5)

(1)	
(2)	①
	②
(3)	
(4)	
(5)	

2 右の図は、藤原氏の系図である。この図を見て、次の問いに答えなさい。

- 図中のAは大化の改新^{たいかかいしん}に着手した中心人物、Bは父とともに摂関政治の全盛期を築いた人物である。A・Bの人物の名前をそれぞれ答えなさい。
- 摂関政治が行われていたころに最も栄えた、日本の風土や生活に合った文化を何というか答えなさい。
- 藤原氏は、どのようにして勢力を強めたか。図を参考にして、「摂政」と「関白」の2つの語句を使って、簡単に答えなさい。
- 次の和歌を詠んだ人物を図中から選びなさい。
「この世をば わが世とぞ思ふ 望月^{もちづき}の 欠けたることも なしと思へば」



2 (各5点×5)

(1)	A
	B
(2)	
(3)	
(4)	